

令和4年第6回菊池市教育委員会会議録

日時 令和4年6月20日（月）午後1時30分
場所 キクロス大研修室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	森 智保美
教育委員	生 田 博 隆
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育部長	村 田 義 喜
教育審議員	久 保 敦 嗣
学校教育課長	倉 原 桂 一
生涯学習課長	古 庄 和 彦
社会体育課長	宮 本 健
学校給食管理室長	富 田 信 幸
菊池市公民館副館長	吉 川 良 二
菊池市中央図書館長	安 永 秀 樹
学校教育課指導主事	西 野 浩 史
学校教育課指導主事	木 村 誠 希
学校教育課総務係長	岩 根 貴 史

17 / 17人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 議案案件
議案第53号 菊池市社会教育委員の委嘱について
5. 報告案件
報告第10号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況（2022年5月末現在）について
報告第11号 令和4年度菊池市学力・学習状況調査（4月）結果概要
6. その他
7. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議
令和4年7月21日（木）13：30～ キクロス大研修室

開会

音光寺教育長 では、皆さん、御起立をお願いします。

ただいまから、令和4年第6回菊池市教育委員会議を開会いたします。よろしくをお願いします。

会議次第に従い、議事録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和4年第5回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議ありませんので、令和4年第5回菊池市教育委員会の会議録については、承認することに決定します。

次に、教育長報告を議題とします。私より報告をいたします。

まず、教育委員の皆様におかれましては、2週連続誘拐殺人予告につきまして、多大なる御迷惑と御心配をおかけしました。本当に、学校、PTA、地域の協力により、何事もなく過ごせたということで、大変ありがたく思っております。

市民の皆様にも感謝申し上げたいと思っております。

もう1点、うれしい報告が幾つかありますので、先にそちらを報告したいと思います。

まず、5月に行いました全日本中学生男女ソフトボール大会の県予選で、菊池南中学校と菊陽中学校の合同チームが県で優勝しまして、8月に行われます全国大会に出場ということです。

6月に行いました県中学選抜バレーボール選手権大会では、菊池南中学校の男子バレー部が39年ぶり3度目の優勝を飾っています。

6月4日に行われました県中学生ソフトテニス選手権大会で、七城中学校の女子ソフトテニス部の坂本・前川ペアが準優勝。それと12日に行われました県中学生剣道優勝大会で、旭志中学校の男子剣道部が準優勝と、非常に輝かしい成績を残してくれております。

以上、報告をいたします。

では、次に、私の動静について御報告いたします。

5月21日、市内中学校体育大会が行われております。

23日、菊池地域人権・同和教育連絡協議会総会、地域未来塾運営委員会議に出席しております。

24日、庁議。行政改革推進本部会議。

25日、県教育庁教育政策課より、菊池北中学校を視察されました。そのときに、非常に生徒が落ち着いて勉学に励んでおり、ICTの活用もしっかりされているという評価を受けております。

26日、市の不登校対策研修会。

27日、菊池市防災会議。

28日、隈府小と旭志小学校の運動会。

29日、残りの小学校の運動会が行われました。

30日、臨時市内小中学校校長会議、これは先ほど言いました予告メールに対する会議です。また、教育部庁議。

31日、菊池市幼・保、小、中連携協議会は中止としました。

6月1日、県人権啓発推進協議会総会がありました。部長に代理出席していただいております。市の特別支援教育連携協議会は中止にしております。

また、西留安雄先生による授業改善指導が菊之池小学校で行われました。

2日、同じく西留先生による授業改善指導が隈府小学校で行われております。菊池支部解放子ども会辞令交付式はZ o o m会議で行いました。

3日、管内教育長会議。

4日、キクロスカレッジの開校式を行っております。これは新聞でも報道されました。

6日、社会を明るくする運動総会、市民会議総会、それから校長期首面談を行っております。

7日、臨時議会、スクールサポートチーム全体会は中止としております。

8日、庁議、市内教頭会議。市内教頭会議はZ o o m会議で行いました。それから校長期首面談を行っております。

9日、地域学校協働活動推進員学校担当者合同研修会を行いました。それから校長期首面談を行っております。

13日、包括協定をしています企業や大学との交流会を行いました。これも新聞で報道されております。

15日、市内小中学校校長会議。

17日、市長記者会見。それから菊池郡市中体連大会が19日まで行われています。昨日、視察に行っております。

本日20日、教育委員会議、泗水中学校の地域未来塾の開校式が行われます。

2番目に、管内教育長会議からの報告です。

まず、成尾所長から、管理職選考考査について、将来有望な管理職となれる人材を推薦していただきたいとお話があります。人材育成についてですが、校長の退職者数が昨年度末で9名退職。今年度末は14名退職ということで、2年間で23人退職されます。全体の52%です。校長、教頭の採用については、校長1、2年目の方が48%。教頭におかれましては1、2年目の方が63%。若い管理職ということで早急な人材育成が必要になっているということです。

各種指導訪問については、学校の課題に応じた指導を行っていくということでした。

不祥事防止については、高校で不祥事案が発生しているということで、各学校でも、しっかり取り組んでいただきたいということでした。

次に、坂本管理主事からは、不祥事防止及び事故防止ということで、不祥事防止は先ほど言いました高校の件です。それと事故防止については連休明けに交通事故等が増加しているということで、さらなる事故防止をお願いされました。管理職選考考査については、日程等について報告がありました。

改正教育職員免許法施行後の教員免許状の取扱いについて、今まで更新されていなかった方も、7月以降は、期限のない免許状に切り替えることができるということです。このことによって、人材不足がある程度、解消の方向にいくのではないかと考えているところです。

その他、労働安全衛生に対しての整備・充実についてということで、メンタルヘルスについては早めの対応をお願いしたいということでした。それから、夏季の特別休暇の話がありました。

笠指導課長からは、学校訪問、総合訪問について、緊急事態宣言や、まん延防止等の重点措置中は実施しないということでした。年度内で延期、短縮、協力者なしで実施するかどうかを検討するということです。

児童、生徒及び訪問者の感染が生じた場合は、教育委員会と検討するというところで、本年度は実施する方向で考えているとのことでした。

職員の研修機会の確保については、色々な研修がありますので、積極的な参加をお願いしたいとのことでした。

また、学力向上に向けた授業づくりの視点について、教育事務所が出されている視点に沿った指導を行いますとのことがありました。

3番目の、市内校長会議についてです。

まず、安心安全の学校づくりのためにということで、コロナ対策、マスク使用の改定が行われております。登下校中はしなくてもいい。体育の時間等も熱中症対策としてマスクは外してもいいと変わっています。その点を学校での指導をお願いしますと伝えています。梅雨前の暑い時期、また、梅雨明けに熱中症が多発しますので、その対策をするということ。それから、大雨、集中豪雨の対策も梅雨に入る前にしっかり準備しておくように指導しております。特に、排水溝周辺を、しっかりと掃除するようにお願いしています。

次に、学力向上についてです。菊池市学力調査の結果を今後の指導に生かすということで、特によかったのが「毎日学習する」の項目が小学校で上昇しておりました。そのため、小学校の成績が伸びております。また、家庭学習の習慣の定着と、一人一台端末のタブレットを持ち帰り、家庭学習に利用するようにお願いしております。

次に、令和5年度の公立高校入試日程が決まりました。昨年と同じくコロナ対策のために日程が早くなっております。このため、年間計画の見直しをして、学習内容がしっかりと終わるように指導しております。

次に、いじめ、不登校対策については、学校の間診表等アンケートを活用し、早期の面談を実施するようにお願いしています。

人権教育啓発の充実につきましては、差別事象を受けて人権教育の授業と学級経営の充実を図るということで、ほとんどの学校で、6月に人権教育を予定されておりますので、その充実を図っていただきたいとお願いしております。

不祥事防止については、教育事務所から指導がありましたとおり、不祥事案を自校のこととして考えて、研修を行っていただくようにお願いしております。

働き方改革の推進については、職員の勤務時間をしっかりと把握していただい

て、80時間以上勤務がつづく先生につきましては、校長との面談を必ず行っていただきたい。そして、2か月続くような先生がいたら、産業医の面談を勧めていただくようお願いしております。

その他としまして、学校のグランドデザインに、ESDの視点を入れていただくこと。また、熊大付属小学校の夏の実践研究会が、授業づくりについてのテーマで、8月18日にオンラインで行われますので、夏休み期間中を利用して、参加される方は参加していただきたいと伝えております。

4番目の今後の予定につきましては、明日21日、庁議、TSMCの推進本部会議、菊池市奨学金奨学生選考委員会が行われます。

22日、小学生の演劇教室を文化会館で行います。旭志中学校の未来塾の開校式を行います。

24日、菊池市議会が開会いたします。

27日、戸崎小学校の総合訪問。

28日、泗水中学校のB訪問。

29日、市議会の予算決算常任委員会。

30日から一般質問。

7月1日、4日、5日も同じく一般質問です。

7月2日、社会を明るくする運動講演会が行われます。

6日、市議会常任委員会、管内教育長会議、地域未来塾の菊池北中学校開校式。

7日、市議会常任委員会です。

11日、菊池北中学校総合訪問。

12日、庁議、市議会の予算決算常任委員会。

13日、市内小中学校長会議。

14日、全国都市教育長会議理事会が東京で行われます。

15日、市議会の閉会。

19日、市内小中学校教頭会議。菊池市教育支援委員会。

20日、旭志小学校B訪問。

21日、教育事務所ヒアリング。菊池市教育委員会の予定になっております。

以上、私からの報告といたします。

では、今の報告につきましては、何か御質問等ありますでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

それでは、議事に入ります。

議案第53号を議題とし、事務局から説明をお願いします。

古庄課長。

古庄生涯学習課長 生涯学習課でございます。よろしくお願いたします。

議案書の1ページをお願いいたします。

議案第53号、菊池市社会教育委員の委嘱について。菊池市社会教育委員を委嘱したいので教育委員会の意見を求めるものでございます。

提案理由としましては、菊池市社会教育委員設置条例第2条の規定に基づき、前任者の退任に伴い、新たに社会教育委員を委嘱する必要があるためでございます。

2ページの名簿を御覧ください。

社会教育委員の任期につきましては、令和3年度、令和4年度の2か年で委嘱をしているところでございますが、役職の交代に伴いまして備考欄に「新」と記載している2名の方の承認をいただくものでございます。

お一人目が6番目の社会教育関係者として、PTA連絡協議会会長の田中早苗様。お二人目が7番目の同じく社会教育関係者として、区長協議会代表の後藤和弘様をお願いするものであります。

以上、よろしく願いいたします。

音光寺教育長 では、ただいまの説明について質疑及び御意見はありませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 質疑はないようですので、採決いたします。

議案第53号は原案のとおり可決することに御異議ございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第53号は原案のとおり可決することに決定します。

次に、報告案件に入ります。

報告第10号、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況の説明を事務局よりお願いします。

西野指導主事。

西野学校教育課指導主事 それでは、菊池市内の小中学校の不登校、いじめの状況について御報告をさせていただきます。

報告資料1ページを御覧ください。

1段目のグラフが、不登校及び不登校傾向のグラフとなります。5月末現在で、不登校の児童生徒は、小学生で4名、中学生10名の計14名、そして不登校傾向の児童生徒が、小学生で23名、中学生で34名の合計57名となっております。

次に、5月のいじめの報告についてですが、小学校につきましては1件、中学校で2件です。該当の学校におきましては、管理職も含めて組織的に対応をしているところです。現在、いずれも解決の方向に向かっております。

続きまして、資料の2ページを御覧ください。

上段のグラフが、適応指導教室の利用状況を示しております。5月に入りまして、申請件数が5件ありました。内訳としましては、小学校5年生が1名、6年生が1名、中学校2年生が2名、3年生が1名となっております。

2段目のグラフからは、それぞれの適応指導教室の相談件数と相談内容について載せております。

資料の3ページを御覧ください。三つの適応指導教室の5月の相談件数を一番下のグラフに示しております。菊池教室が21件、七城教室が20件、泗水教室が15件の合計で56件の相談がありました。

相談内容としましては、不登校になっている生徒の保護者から困り感を相談されたり、通級している生徒の教室での過ごし方についての相談、または学校の職員から、不登校傾向の児童生徒の状況についての相談などがありましたが、最も多かったのは、通っている児童生徒の学習に関するものとなっております。

続きまして、資料の4ページを御覧ください。

心の教室相談利用状況を中学校ごとに示しております。

5月の相談件数は、菊池北中15件、菊池南中28件、七城中12件、旭志中11件、泗水中15件で、合計81件となっております。

相談内容としましては、5月ですので、体育大会への参加についての人間関係の不安等の相談が多くあったようです。

相談したことによって、当日、体育大会に参加できたという報告もあっております。日々の児童生徒の変化について、教職員と情報共有を細かに行っております。

最後に6ページを御覧ください。

上のグラフは、菊池市のスクールソーシャルワーカーへの相談件数となります。5月は57件の相談でした。いじめ、不登校に関わる保護者、本人の思いを傾聴しながら、学校職員との対応の仕方や関係機関との連携について、スクールソーシャルワーカーに毎日のように要請を受けて、対応を行っているところです。

次に、下のグラフの学校支援コーディネーターの相談対応件数は77件となります。各学校の教頭先生を窓口として対応しておりますが、いじめ、不登校担当者や養護教諭、子育て支援課、適応指導教室指導員等と電話により、細かい情報収集、対応の状況の把握を行っております。相談件数も非常に多くなっているところです。

報告は以上となります。

音光寺教育長 ただいまの報告について、質疑及び御意見はありませんでしょうか。
森委員。

森委員 お尋ねですけれど、それぞれの教室の相談件数で一番多かったのは学習と言われましたが、そういうときの相談で、指導として、その後の取組とか、どんなことをお話しされていますか。学習で分からないという話だったら、保護者や担任にも色々繋げるのかなと思うのですが、どのような対応をされているのでしょうか。

西野学校教育課指導主事 相談件数は、数として報告しておりますが、適応指導教室に通って来ている児童生徒が適応指導教室指導員に、今日どういう勉強しようかというところ、勉強の内容や、分からないことを聞いたり、そういうことを、日々、相談対応しているため件数が多く上がってきているという状況でございます。

森委員 分かりました。では、その場で色々に対応をされてるということですね。

西野学校教育課指導主事 はい、免許を持っておりますので、対応しているところです。

森委員 分かりました。ありがとうございます。

音光寺教育長 他にありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 では、次の報告に移りたいと思います。

報告第11号、令和4年度菊池市学力・学習状況調査の結果概要の説明を事務局よりお願いします。

木村指導主事。

木村学校教育課指導主事 本年度の菊池市学力・学習状況調査の結果の概要について、報告をさせていただきます。

昨年度から、県の学力調査でも採用されている東京書籍の学力調査を採用しております。資料は別冊の資料になります。

本年度で、この東京書籍の学力調査は2年目となります。今回の調査の対象は小学校3年生から6年生で、教科は国語、算数及び児童質問調査アイチェックとなります。

中学校は1年生から3年生まで、教科は1年生が国語、社会、数学、理科の4教科。2年生と3年生が国語、社会、数学、理科、英語の5教科となっております。また、併せて、生徒質問調査のほうも行っております。

4月の中旬から下旬にかけて、各学校が調査日を設定して実施をしたところで、お渡ししております冊子が20ページを超えるものになっておりますので、本日は大まかな結果の概要について、報告できればと思っております。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

まずは、総合正答率と標準スコアについて掲載をしております。まず、目標値について少し説明をさせていただきたいと思います。目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したものです。

この正答率が目標値を5ポイント以上上回ったものには白の上向きの三角と。

目標値に対してプラスマイナス5ポイント未満であればニアリーイコール（≒）と。目標値を5ポイント以上下回った場合は、黒の下向きの三角という表示がついております。

また、標準スコアといいますのが、全国の正答率を50としたときの換算値となります。いわゆる偏差値といわれるものになります。

中段から小学校の結果を載せております。表を見ていただくと、左から菊池市の結果、目標値、評価、全国の平均。さらに、全国の標準スコアを載せております。

昨年度の4月、昨年度の12月の結果、それと同一集団による経年比較ということで昨年の4月と比較してどうだったかと。昨年の12月と比較してどうだったかというところで載せております。

小学校全体を見ましても、国語と算数ともに、目標値と同程度となっております。標準スコアで見ましても50を下回った教科が多いですが、実は昨年度4月、この1年間の変化を見ますと、かなり伸びが見られております。昨年1年間の各学校の成果の様子に分かるのではないかなと思っていますところです。

2ページを御覧ください。

中学校の結果になります。中学校1年生は全て目標値と同程度ということになっております。昨年度4月と比較しても上昇が見られているところです。ただ、中2、中3に関しては、全て目標値を下回っているという結果が出ております。

また、標準スコアによる同一集団の経年比較をしましても、特に中学校2年生で低下が著しいところです。

ただ、中学校3年生の英語に関しては、確かな伸びも見られております。

後ほど、また課題のほうは見ていきたいと思います。

3ページを御覧ください。

標準スコアによる同一集団の経年比較というところで、グラフで示されたものになります。小学校4年生、5年生、6年生の算数、中学校1年生、ここは大きな伸びが見られているところです。

ちょっと低下しているのが6年生の国語、それと中学2年生、中学3年生の英語以外ですね。ここは低下が見られております。特に中学2年生の結果ですが、実は令和3年度は、小学校6年生の学習内容になります。中学校に上がってすぐのテストになりますので、小学校6年生のときの学習内容ということです。令和4年度は、その学習内容としては中学1年生の学習内容になりますので、要は小6と中1の学力を見るものになります。いわゆる中1ギャップというのがここで大きく現れているのではないかと思います。ここは意識して取り組んでいく必要があるかと思っています。

4ページを御覧ください。

4ページからは、各教科の課題について載せております。大変、全国と比べてもいいところがたくさんありましたが、ここはあえて課題だけ載せているところです。

4ページから6ページの上にかけて、国語の標準スコアによるカテゴリー化の

比較と正答率の分布図を載せております。図を見ていただくと、読むことに関して落ち込みがあるのが分かるのではないかと思います。菊池市全体として、大きな課題となるかと思えます。

また、正答率分布図を見ましても、40%と書いてあるところ、40%未満の数字になりますが、大体小学校6年生ぐらいから大きく割合が増えてきているかと思えます。

6ページの下の方は、課題となる小問ということで載せております。括弧内の数字は菊池市の正答率と全国の正答率の差ということで、特に差が大きかった小問を、2問程度ずつ載せているところです。

続きまして、7ページからが算数と数学になります。

小学校に関しては、小学校4年生で全国と比べると若干低いところが見られましたが、小学校5年生あたりは全国と比べても、かなり大きな成果が見られるのではないかなと思っております。

8ページを御覧ください。

課題として、下のほうに載せております。特に中学校2年生、3年生では全体的にチャート図からも分かるかと思えますが、全体的に課題が大きく見られております。早急な改善の取組が必要かと思えます。

また、正答率分布図から見ましても、40%未満の学力不振の児童生徒の出現率というのが小学校5年生から高まっております。特に中学校2年生から大きくなっているのが見て取れるかと思えます。

続きまして、英語です。9ページの後半になります。

英語に関しては中学校2年生と3年生のみということになります。10ページの上の方に載せておりますが、チャート図から見ますと全体的に課題があるところで、また、正答率40%未満の生徒の出現率も高まっておりますので、早急な改善が必要かと思っております。

続きまして、社会になります。中学校1年生から3年生までとなります。中学校1年生は、全国並みというところでしたが、中学校2、3年生に関しては、やはり課題があります。また、40%未満の生徒の出現率も3年生で高くなっていくところです。

続きまして、理科になります。11ページの下の方になります。

中学校1年生から3年生までとなっております。やはりここでも、中学校2年生、3年生で大きな課題があります。また、正答率40%未満の出現率も高まっておりますので、早急な改善の取組が必要になってくるかなと思えます。

続きまして、13ページからは児童生徒の質問紙調査アイチェックからということになります。小学校3年生、4年生は75問、小学校5年生から中学校3年生までは93問の質問に答えているものになります。

14ページを御覧ください。

学年ごとにレーダーチャートでまとめてあります。昨年度、小学校から中学校まで共通する課題としてありましたのが、学習意欲に関するものですが、本年度は、中学校3年生がまだ課題として残っておりますが、かなり改善傾向が見ら

れます。また、成功体験と自信についても同様のことが読み取れます。

また、全学年を通して、学級の規範意識、ここも非常に高いことが読み取れるところではあります。

続きまして、家庭学習に関する項目になります。15ページの後半からになります。

これを見ていただくと、特に「学校の授業以外で週に何日ぐらい勉強しますか」というような項目で、ほぼ全国並みという結果が出ております。昨年度は全国に比べて、かなり厳しい状況がありましたが、「ほぼ毎日勉強する」と回答した児童生徒の割合が大きく増えております。今年度は改善傾向が見られたところでした。

続きまして、19ページを御覧ください。

自己肯定感に関するところになります。「自分のいいところを言えますか」というところで、肯定率で見ますと、中学校1年生で全国を上回っております。小学校3年生、5年生は同程度ということになります。こちらも、自己肯定感、様々な行動の原動力につながる項目になりますので、しっかり育てていく必要があるかと思っております。

また、20ページからは「将来あんな人になりたい」とか「こんなことがしたい、こんな仕事に就きたいといった夢、目標がある」と答えた児童生徒の割合ですが、おおむね良好な状態になりつつあり、特に小学校5年生は全国を大きく上回っております。

最後に21ページになります。今後の方向性ということで8点載せております。

まず、各学校でしっかりと分析をお願いしたところではあります。二つ目に、授業改善の取組をしっかり充実させていくということで、大きく3項目載せております。まずは、熊本の学び、授業実践の7つのチェックリストが義務教育課から出ておりますので、それをしっかり活用し、熊本の学びを推進していくことを各学校にお願いしているところではあります。

また、一人一台端末の積極的な活用ということで、個別最適化された学習に有効に活用できますので、しっかりその活用もお願いをしたところではあります。

それから、本年度から西留安雄先生に学ぶ授業改革ということで子供が主体的に学ぶ授業改革ということで取り組んでおります。教師が教え込む授業から子供が主体的に学ぶ全員活躍型の授業を目指して、学び方、学ぶ態度を日々授業で育んでいきたいと考えているところではあります。

三つ目に家庭学習方法の見直しについて。改善傾向にありますが、引き続き、この調子で各学校、取り組んでいただきたいとお願いしたところではあります。

四つ目に朝活動、また放課後等の時間を利用した基礎学力の向上の取組、特に読み・書き・計算の徹底ということでお願いをしたところではあります。

五つ目に、小中連携の部分になります。しっかり中学校区間で情報を共有して小中連携に取り組んでいきたいと考えているところではあります。

来週の6月28日の午後から、菊池市の教務主任会のほうを実施します。菊池教育事務所の指導主事もお招きして、小中連携の部分をしっかり検証を行う予定

になっております。

六つ目に、アイチェックのを学級経営に生かしていただくこと。

七つ目に、学習意欲がなかなか向上しないという学年もありますので、キャリア教育をしっかり充実させていくこと。

最後に、E S Dの推進ということで、児童生徒の自己有用感を高め、主体的な学習態度の醸成を図っていくことを各学校にお願いをしたところです。

以上になりますが、これはあくまで、市全体としての概要となりますので、各学校でしっかり分析を行っていただくようお願いをしたところでした。

次に、このような数値的な結果が見られますのが12月下旬に実施されます県の学力調査及びそれに合わせて行います菊池市の学力調査となります。今回の調査を一つの改善対策として捉えて、各学校でさらなる学力充実を図ってもらえるように指導を行っていきたいと思っております。

以上で報告を終わります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について、質疑及び御意見はありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 各学校の取組について、学校訪問等でどのような取組を行っているか具体的に説明していただくようにしております。

その他に入ります。事務局から何かありますでしょうか。

事務局 ございませぬ。

音光寺教育長 では、委員の皆様から何かございませぬでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 ないようですので、本日の委員会はこれで閉会いたします。

御起立をお願いします。どうもお疲れさまでした。

— 了 —